

論述ブースト No.9

少子化・人口減少を医療の視点で論じる ―― 産科・小児科・地域医療を軸に組み立てる

導入文

「少子化について医師としてどう考えるか」という問いは医学部面接・小論文で定番テーマだ。しかし「子どもを産みやすい社会にすべき」という一般論に終わると、医師志望者としての論点が見えない。産科・小児科・地域医療・医師偏在の視点を持つことで、医師の立場からの論証が書ける。

講義概要

少子化・人口減少を「医療需要の変化」「医師の役割の変化」「地域医療への影響」の3軸で整理する。産科・小児科の医師不足・地域偏在、周産期医療体制、小児医療の変化、医療資源の再配分という医療固有の視点を体系化し、医学部の論述・面接で深みのある答えを作る。

授業目標：少子化論述を一般論から、医療需要・医師役割・地域医療の3軸による医師視点の論証へ変える。

対象者：高2～高3・浪人生。医学部・医療系の総合型選抜・推薦入試で、社会医療テーマの小論文・面接に備えたい生徒。

授業時間：授業90分＋演習・質疑応答30分

到達目標：医療需要の変化として少子化を論点化できる／産科・小児科の課題を具体的に組み込める／医師として何ができるかを論証できる

授業構成 (90分)＋演習・質疑応答 (30分)

授業90分：1 導入：一般論と医師視点の論述を比較 2 医療需要軸：少子化で変わる医療需要（小児→高齢者）を整理 3 産科・小児科軸：医師不足・地域偏在・周産期医療の現状 4 地域医療軸：人口減少と地域医療体制の変化 5 医師の役割：予防・教育・政策提言まで含めた論点化 6 演習：小論文骨子を3軸で作成 7 まとめ：「医療の視点から少子化を論じる」骨子を固定

追加30分：「少子化社会で医師として何をすべきか」を3軸で300字論述する演習と質疑応答を行う。

板書・スライド骨子：少子化の医療需要への影響／産科・小児科の課題整理／地域医療体制の変化／医師の役割の論点化

課題：「人口減少社会において地域医療を守るために医師は何をすべきか」を300字で論じる。

備考：高校・予備校の先生方／編入学試験および大学院受験への橋渡しの基礎確認をしたい方にも対応。